

せいじの

平成30年7月 150号

青磁野リハビリテーション病院
せいじの健診センター
介護老人保健施設 青翔苑
グループホーム あおばの家
地域介護相談センター けあまっぶ城西
訪問看護ステーション城西
せいじのヘルパーステーション
サービス付き高齢者向け住宅 ファインテラスせいじの
熊本市西2地域包括支援センター

地域包括ケアシステムの推進に向けて

現在、日本では平均寿命が伸び続け、団塊の世代も高齢者世代となり、これまで経験したことのない超高齢社会に突入しています。政府の推計では、少ない若者で多くの高齢者を支えなければならない時代が来ると予測しています。

また、将来介護を必要とする高齢者へのケアの供給不足や提供側の都合に沿ったサービスの出現などが危惧されています。

このような高齢化に伴う介護・医療を取り巻く問題を国として、そして国民として共に乗り越えていこうとする厚生労働省の提案が、地域包括ケアシステムです。

地域包括ケアシステムの最大のポイントは、高齢の方が要介護状態になっても、いつまでも住み慣れた地域で元気に生き生きと自分らしい生活を送れるように、医療・介護・保健福祉などの多職種が地域の人々と連携し、多様な人材や資源を活用しながら、地域で支え合う仕組みを構築することです。熊本市では、地域包括ケアシステムの実現のため、熊本市地域包括ケアシステム推進会議を開催し、様々な課題解決に向けた協議を行っています。

当院では、平成26年に地域包括ケア病棟を新設し、在宅復帰に向けた医療やリハビリなどを中心に行い、社会復帰支援にさらに力を入れています。医師・看護師・介護士・社会福祉士・リハビリスタッフなどの多職種によるチーム医療で早期退院に向けた取り組みを行っています。

例えば、試験外出や試験外泊、試験退院もこれにあたります。試験退院中に訪問看護やヘルパー



医療法人金澤会
理事長 金澤 知徳

などによる支援を受け退院後の生活を試行体験することで在宅での生活をイメージしやすくなり、患者さんやご家族の不安感や負担感を和らげる目的があります。

今後も、各地の訪問看護ステーションやヘルパーステーション、ケアマネジャーのほか、地域医療機関との連携・情報共有を図り、在宅に戻られた後もその先にある患者さんの人生を支えられるよう「Be The Best Partner(いつも頼れるパートナーでありたい)」を信念に地域包括ケアシステムの推進に取り組んでまいります。



せいじの150号

- 不安解消のためにチームでサポート！！在宅復帰支援の取り組み
- クローズアップ！ 青磁野リハビリテーション病院 医療安全管理者編
- 第3回地域医療連携懇話会開催報告
- 地域連携ドクター紹介

不安解消のためにチームでサポート！！ 在宅復帰支援の取り組み

病气やけがで入院を余儀なくされると、患者様もご家族も生活状況が一変してしまいます。そのため、退院後の生活に対しても不安を感じておられる方が少なくありません。当院では、その不安を少しでも解消し、安心して元の生活に戻れるよう、チームで退院支援を行っています。

入院中、治療やリハビリが一旦落ち着かれましたら患者様に同行し、自宅訪問を行います。環境や身体面の確認をしながら、患者様、ご家族が不安に思われるところをお聞きし、一緒に対策を考えます。介護サービスをご利用の方であれば、ケアマネージャーや関連する事業所と協力をしながら進めていきます。

さらに、退院前には外出や外泊をお勧めしています。実際の生活の場で退院後の生活を想定したシミュレーションを目的としています。また、当院独自の取り組みとして、長期入院の方や特に退院への不安が大きい方に対しては、「試験退院」を提案しています。一旦退院の形をとることで、実際の介護サービスの利用が可能となります。試験退院中は、いつでも再入院ができますので患者様やご家族に安心してチャレンジしていただくことが出来ます。

当院には、総合連携室にソーシャルワーカーが8名配置されており、チーム医療の一員として活動しています。これからも、地域で生活される皆さまのお役に立てますよう一同頑張っております。どうぞ、いつでもご相談ください。



～入院から退院までのイメージ～



クローズアップ！

～青磁野リハビリテーション病院 医療安全管理者 編～

「人間は誰でも間違える」もので、事故を絶対に起こさないように注意を払っても誤りは起こりえるものだという認識を前提に医療事故を防止するための分析・原因追及・改善策の検討や、医療安全に関する職員への研修などを行っています。

また、定期的な院内巡視を行い、患者様に安全な医療環境が提供されているか、医薬品・医療機器が正しく取り扱われているか、また、職員全員が医療安全推進のために積極的に取り組んでいるかなどの評価を行っています。今後も、患者様に安心して治療を受けていただくため、またより安全な医療を提供できるよう、職員一同で取り組んでまいります。



医療安全管理者
田中 慎哉
(看護師)

第3回地域医療連携懇話会を開催しました！

平成30年6月6日(水)19時より「第3回地域医療連携懇話会」を開催いたしました。日頃より診療や在宅サービスなどでお世話になっている地域医療機関の皆さまと顔の見える連携を深めたいと企画したこの会は、第3回目を迎えました。今回は、医師、看護師、リハビリスタッフなど、多職種21名（12医療機関）の方々にご参加いただきました。

今回は、当院の概況や入退院の状況報告、当院における退院支援の取り組み、リハビリ機器のバランスコーダの説明とデモンストレーションを行いました。

また、近隣医療機関のご紹介として、国立病院機構熊本医療センター 統括診療部長兼地域医療連携室 室長 渡邊 健次郎 先生、ながわ内科クリニック 院長 中川 いづみ 先生、みつぐまち診療所 院長 津野田 尚子 先生より病院のご紹介や日頃の診療の様子などをお話いただきました。

今後も、医療機関、開業医の先生方、介護・福祉施設などの皆さまと顔の見える連携をさらに深めながら、医療・福祉連携の一層の充実を図ることができるよう努めてまいります。

ご多忙の中、ご参加いただきました皆さまには感謝申し上げます。



医師紹介コーナー



リハビリテーション科
大田 和貴
(おおた かずたか)

平成29年5月に赴任しました大田和貴です。

脳血管障害（脳出血・脳梗塞・くも膜下出血など）頭部外傷、脳腫瘍などの脳疾患を中心に診療いたします。

主に回復期リハビリテーション病棟を担当しています。患者様が少しでも機能回復が進むよう努力していきたいと思っております。



内科
松永 由里子
(まつなが ゆりこ)

10年ぶりに当院に戻って参りました。

これまで熊本市役所や済生会熊本病院予防医療センターに勤務してきました。それらの経験を活かして、地域の方々の健康維持増進のお手伝いができると思います。どうぞよろしくお願いいたします。

地域連携ドクター紹介



中川クリニック なかがわとくろう 院長 中川 徳郎 先生

鶴屋パークの2階にて先代の父が昭和36年に開業して、今年で57年目となりました。整形外科を主標榜としております。

青磁野リハビリテーション病院は、熊本の西の要としてどっしとした存在であり、地域住民の方の要所としてのみならず、我々医療機関としましても、入院が必要な患者さんを紹介するにあたり、大変お世話になっています。

今後、押し寄せる超高齢化社会到来に向けて

貴院の役割がますます重要になっておられ、私共としましても心強い限りです。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

● 診療科目

整形外科、リハビリテーション科

● 診療日・診療時間

	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○
14:00~18:00	○	—	○	○	○	○

※火曜日13時まで ※土曜日17時まで

※日祝休診

● 所在地

熊本市中央区安政町3-4

(鶴屋パーク 2階)

TEL 096-356-6636



外来診療担当表

平成30年7月～

《受付時間》 午前／ 8:30～12:00

午後／13:30～17:00

《診療時間》 午前／ 9:00～12:00

午後／14:00～17:00

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	金澤知	金澤知	竹内	金澤知	安野	第1-3-5 渡辺 第2 辻橋 第4 古田
		石本	森	金澤尚	石本	金澤尚	岩岡
		森	上野	佐々木 (9時半～13時)	大田	中根	—
	午後	上野	(予約制)石本	(予約制)安野	森	高木	橋本
		橋本	大田	橋本	竹内	橋本	—
		金澤親	金澤親	金澤親	金澤親	金澤親	—
整形外科	午後	応相談					—

● 金澤会理念 ●

私たちは、社会から信頼され必要とされる医療と福祉の実現を目指します

● 基本方針 (3本柱) ●

1. 医療 (メディカル・ケア)

内科・整形外科・リハビリテーション医療の病院として、質の高い医療サービスをご提供します

2. 福祉 (ソーシャル・ライフ・ケア)

施設内及び在宅の障害者、高齢者の生活の自立を支援すると共に、医療、福祉に関する様々なご相談にお応えします

3. 健康 (ヘルス・プロモーション)

人間ドック、健康診断、企業健診を通して、地域の皆様の健康づくりを支援します

金澤会のデータ

(平成29年度)

病院診療情報

- ・ 外来患者延数 33,679人(1日平均114.9人)
- ・ 延べ入院患者数 76,803人(1日平均210.4人)
- ・ 新入院患者数 797人
- ・ 退院患者数 801人

せいじの150号 平成30年7月

発行 ● 医療法人金澤会

発行人 ● 金澤 知徳

編集 ● 青磁野リハビリテーション病院 総務課

〒860-8515 熊本市西区島崎2丁目22-15

TEL096-354-1731 FAX096-354-1736

<http://www.seijino.or.jp/>



日本医療機能評価機構
認定第JG1184号
平成28年12月更新